課題	火山ガス被害跡地のヒノキ天然更新について						開発期間	平成 8	平成8年 ~ 平成32年度		E
開発箇所	深江温泉嶽国有林 97ら2・ね1林小班	担当部署	島原森林事務所	共同研究 機 関			技術開発 目 標	(1)	特定区域 内 外	•
開発目的 (数値目標)	平成3年10月の雲仙普 育成天然林に誘導する方法	野岳噴火に まを究明する	よる火山ガスが、硫	酸ミストとなり	リ、30年生ヒノキ林	分を枯損に至らしめる	る被害をもたらしたが	、跡地に稚樹を残	しているので	、この被害	地を
年度別実施報告							-	29年度 実施計画書			
					実 施 内 容	普及指	当 導	1.保育			
1 (1 (2) (3 - 1 (2) (3 - 1 (2) (3 - 1 (2) (4 - 1) (2) (4 - 1 (2) (4 - 1) (4) (4) (4) (5) (5) (6) (6) (6) (6) (6) (6	所 深江温泉岳 9 4.60 h 本 2 間査事項 以上 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	6年 8 8 2 5 2 5 6 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	H (本地) (本度) (本度) (本度)	1.保育 なし 2.調査事項 1年ごとの生生長量は別落	長量調査を実施 、「生長量集計表」参照	Zi.			2. 調査	との生長量	調査
2-1.制(1)場(2)面(3)林	流 ピノキ人工杯 日間査事項 長量調査 (平) 生調査 (平) 来育作業 リ (平成7~	6年生 成21~22 成21~22 12年度) み平成21年	年度) 年度)						*		140
技術開発委員 ける意見	員会にお			and the self-real off-real		il v		a ⁶⁰ 10			

(注) 1 「課題」欄には、技術開発課題名の他に番号を付して記入すること。 2 「特定区域内外」欄には、技術開発課題の実施箇所について、特定区域内は「○」、特定区域外は「●」、特定区域内 外両方は、「◎」のいずれかを記入すること。 3 「技術開発目標」欄には、「九州森林管理局における技術開発目標(九州森林管理局長通達)」の1~5のうち、該当 する目標の番号を記入すること。 4 「技術開発委員会における意見」欄には、技術開発委員会における意見を記入すること。

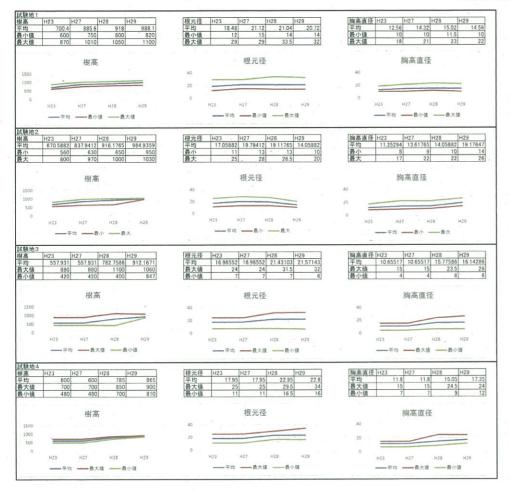
技術開発実施報告·計画

課題	火山ガス被害跡地のヒノキ	と山ガス被害跡地のヒノキ天然更新について						開発期	間	平成8年 ~ 平成32年度		
開発箇所	深江温泉嶽国有林 97ら2・ね1林小班	担当部署	島原森林事務所	共同研究機関	19.7	50		技術開目	発標	(1)	特定区域内 外	•
開発目的	平成3年10月の雲仙普 育成天然林に誘導する方法	賢岳噴火に 去を究明する	よる火山ガスが、	硫酸ミストとな	り、30年生ヒノ	キ林分を枯損!	こ至らしめる	る被害をもたら	したが、跡地し	こ稚樹を残している	るので、この被害	害地を
年度別実施報告				29年度 実施計画			į.		3 0	30年度 実施計画書		
* * . 3				, ° -	実 施 内	容	12.	普	及指導	1.	保育	4
(1)場(2)面(3)林	調宜學項	6年生伐採跡	5地	1.保育 なし 2.調査事項 1年ごとの生 生長量は別況	- 長量調査を実施 系「生長量集計表	」参照				2.	はし 調査事項 年ごとの生長』 実施予定	量調査
(2) (3) (4) 1-3. (1) (2) (3) 本	長 置 調 査 (平原 樹 消 長 調 査 (平原 生 調 査 (平原 保育作業 (試験地 ・試験地 別 平成8~15年度 払い 叉木等になっている 平成11年度実施(る稚樹が多い (試験地 I) るところが見 (試験地 I)	度) 度) 度)									
2-1. (1)場面 (2)面 (3)林 2-2. (1)成 (2)植	所 深江温泉岳 9 7 積 2.07 h a 況 ヒノキ人工林 1 6 調査事項 長 量 調 査 (平成 牛 調 査 (平成		年度)									
2-3. (1)下 (2)除 (3)除	呆育作業 刈 (平成7~1 伐 試験地Ⅲのみ 伐 試験地Ⅲ・N	み平成21年	度実施									
									*			ę
技術開発委 ける意見	員会にお	Ela el							193			

(注) 1

1 「課題」欄には、技術開発課題名の他に番号を付して記入すること。 2 「特定区域内外」欄には、技術開発課題の実施箇所について、特定区域内は「○」、特定区域外は「●」、特定区域内外両方は、「◎」のいずれかを記入すること。 3 「技術開発目標」欄には、「九州森林管理局における技術開発目標(九州森林管理局長通達)」の1~5のうち、該当する目標の番号を記入すること。 4 「技術開発委員会における意見」欄には、技術開発委員会における意見を記入すること。

生長量集計表





開発箇所

深江温泉嶽国有林

課

共同研究

開発期間

技術開発

平成8年 ~

令和2年度

特定区域

年度別実施報告	3 0 年度 実施	30年度 実施計画				
	実 施 内 容	普及指導	1.保育 なし			
1. 試験地(試験地I・試験地I) 1-1. 設定 (平成8年度) (1) 場所 深江温泉岳 97ら2林小班 (2) 面積 4.60ha (3) 林 況 ヒノキ人工林26年生伐採跡地 1-2. 調査事項 (1) 稚樹生育密度調査 (平成8~9年度) (2) 成長量調査 (平成8~6和2年度) (3) 稚樹消 貫調査 (平成8~6和2年度) (4) 植生調査 (平成8~10年度) 1-3. 保育作業 (試験地I・試験地I) (1) 下刈 平成8~15年度 (2) 枝払い 平成11年度実施(試験地I) (3) 本数調整 平成11年度実施(試験地I) (4) 除伐Ⅱ類 試験地I・Iで実施	1. 保育なし 2. 調査事項 日年ごとの成長量調査を実施 成長量は別添「成長量集計表」参照		2. 調査事項 1年ごとの成長量調査 を実施予定			
2. 対照地(試験地皿・試験地Ⅳ) 2-1. 設定 (平成21年度) (1) 場 所 深江温泉岳 97ね1林小班 (2) 面 積 2.07ha (3) 林 況 ヒノキ人工林16年生 2-2. 調査事項 (1) 成 長 量 調 査 (平成21~令和2年度) (2) 植 生 調 査 (平成21~令和2年度) 2-3. 保育作業 (1) 下刈 (平成7~12年度) (2) 除伐 試験地皿のみ平成21年度実施 (3) 除伐 試験地皿・Ⅳで実施						

ける意見

技術開発委員会にお

(注) 1 「課題」欄には、技術開発課題名の他に番号を付して記入すること。

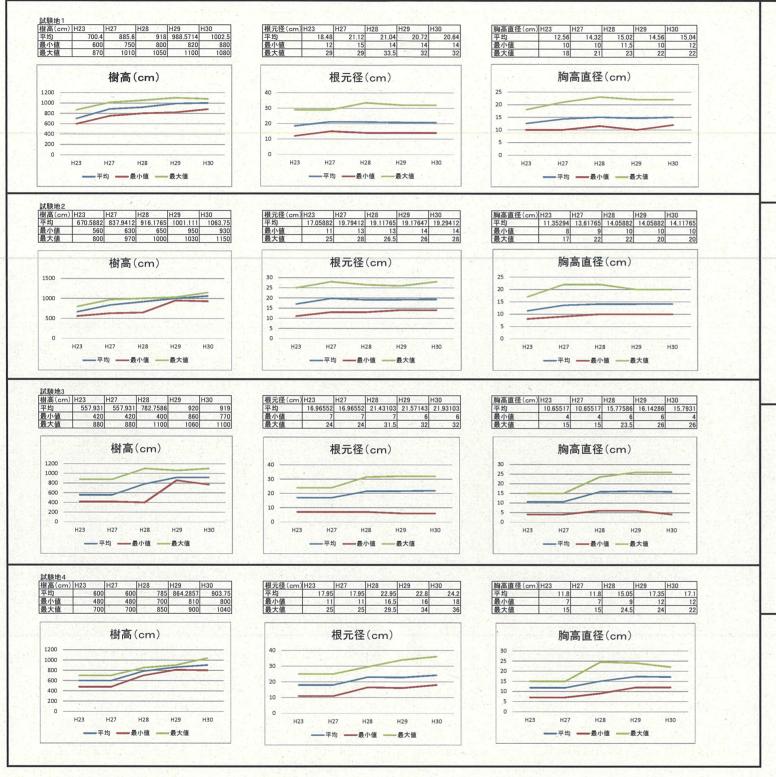
(九州局1)火山ガス被害跡地のヒノキ天然更新について

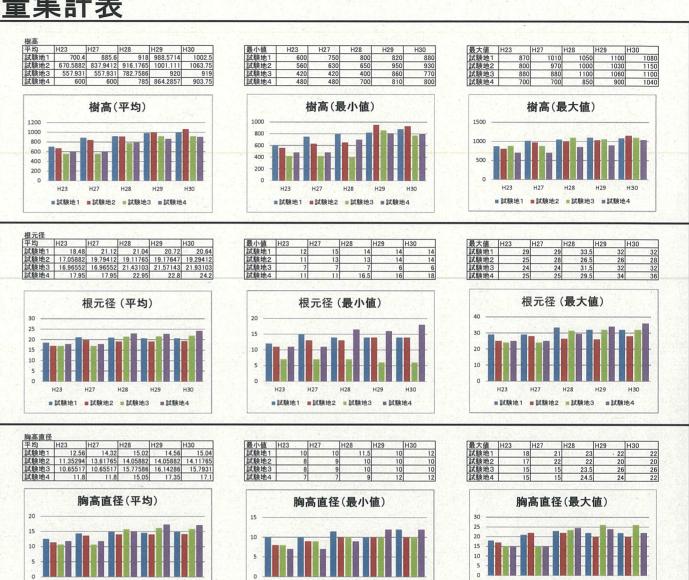
担当部署 島原森林事務所

- 2 「特定区域内外」欄には、技術開発課題の実施箇所について、特定区域内は「○」、特定区域外は「●」、特定区域内
- 2 「行とはなり、何には、「文明用光味度の失応しかにより、行とはなりは「〇」、行とはなりは「〇」、行とはなりなった。 外両方は、「〇」のいずれかを記入すること。 3 「技術開発目標」欄には、「九州森林管理局における技術開発目標(九州森林管理局長通達)」の1~5のうち、該当する目標の番号を記入すること。 4 「技術開発委員会における意見」欄には、技術開発委員会における意見を記入すること。

成長量集計表

■試験地1 ■試験地2 ■試験地3 ■試験地4





■試験地1 ■試験地2 ■試験地3 ■試験地4

■試験地1 ■試験地2 ■試験地3 ■試験地4